

## 大志を抱け！ 世界に挑む若き Scientist

～ICT を用いた高校生向け研究プログラム「SSP+」始動のお知らせ～

### 【概要】

この度チーム SSP+は高校生向け研究プログラム『Super Scientist Program Plus (以下「SSP+」)』を始動することとなりました。SSP+を始動するにあたり、受講生の募集を6月8日から開始します。本プログラムでは地球規模の課題解決に関する科学研究を高校生自身が考え、多種多様のバックグラウンドを持つ TA が ICT を駆使しながら遠隔でサポートを行います。

### 【SSP+とは】

SSP+は北海道大学の高大連携プログラムである北海道大学 Super Scientist Program (以下「北大 SSP」)を前身として、元受講生と TA が新たに作り上げる高校生向け研究プログラムです。北大 SSP 時代には、JpGU (日本地球惑星科学連合)や AGU (アメリカ地球物理学連合)をはじめとして国内外の学会で発表を行ったり論文を投稿したりするなど数々の業績を上げてきました。COVID-19 によって教育や研究の形が変わっていく中、未来の科学者育成のために自分たちの経験が生きるのではないかと考えた OGOB により再び始動することとなりました。

本プログラムでは地球規模の課題解決をテーマとして参加者自身が研究対象と手法を考え、一年程度の期間内で論文執筆や学会発表を目標に TA との議論を通じて研究を進めてもらいます。

北大 SSP 時代の報告書：[https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/about/h26\\_seika/h29\\_seika\\_hokkaido.pdf](https://www.jst.go.jp/cpse/gsc/about/h26_seika/h29_seika_hokkaido.pdf)

### 【SSP+で得られること】

私たちは従来の科学教育から一線を越えた、思考を重視し創造性を伸ばすことのできる科学教育というものを目指しています。本プログラムでは高校生の持つ柔軟な発想力で自分だけの研究を創り上げてもらう必要があります。そして自分の行っている研究が世界にどれだけ貢献することができるのかを常に考えてもらうこととなります。限られた期間でこれだけのことを行うのは非常に難しいですが、過去にそれを成し遂げてきたたくさんの OGOB 達が自分の経験を活かし、TA として受講生のサポートを最大限行います。また、最近では SDGs という概念と共に学際的研究の重要性も高まっています。他分野との連携のためには異なる専門分野の人にも分かるように自分の研究内容を説明する学術的・科学的コミュニケーション能力も必要となります。SSP+の TA は学部生から社会人まで様々な形で活躍している人ばかりで専門分野も獣医学や気象学、途上国開発などと多岐にわたるので、そういった側面からも受講生の力となるでしょう。

### 【ICT を用いた研究指導】

本プログラムの強みの一つとして情報通信技術(ICT)の駆使が挙げられます。最近ではコロナウイルスの影響で教育や研究の実施に制限を受けているケースを多々見かけます。しかし、SSP+では「バーチャル研究室」として ZOOM や Dropbox 等を用いることにより状況に縛られることのない環境下で研究を進めていきます。また研究手法にも ICT を利用したものが多く、北大 SSP 時代には衛星画像を利用した研究や深層学習を用いた研究もありました。国内、そして自宅からでも知恵と工夫を出し合えば十分世界規模の問題に立ち向かうことが可能です。

## 【募集について】

**募集対象：**高校生・高専生（1年～3年生まで）

※高校3年生のスケジュールに関しては配慮します。

**募集日程：**6月8日(月)～ 募集開始

6月30日(火) 募集締め切り

HPより募集の申し込みが可能となります。その後Web面談があります。

**参加条件：**研究進捗報告のための週1回1-2時間のミーティングに参加できること。またPCを使用するため、持っていない場合は応相談。

**参加期間：**夏から1年間程度（論文投稿や国際学会参加者は延長の可能性あり）

**参加費：**基本的に無料。学会に参加する際には別途負担する可能性あり。

**過去の研究例：**

インドネシア特有の新しい火災危険指標の開発 /橋本 朝陽

低コストの吹雪監視装置の開発 /小林 ゆい

衛星リモートセンシングを用いたコーヒーさび病のモニタリング手法の開発 /勝濱 直椰

**その他の研究例：**<http://sspplus.org/2017年までのssp/>

## 【代表から一言】

代表の藤田です。SSP+を通じて、科学が好きな高校生に研究の面白さ、そして高校生でも本格的な研究ができるということを感じてもらいたいです。新型コロナウイルスで大変な状況ですが、ICTを積極的に利用していた強みを生かし、日本の高校生に魅力的な研究プログラムを提供できるように全力を尽くします！

## 【寄附のお願い】

本プログラムの実施にはPCが必須となっております。PCを持っていない学生にも本プログラムを受講する機会を提供できるように現在皆様PCの寄付をお願いしております。ご賛同していただける方はお問い合わせの方にメールをお願いいたします。

また、今後研究予算の確保のためにクラウドファンディングも行う予定です。開始しましたらHPに詳細を掲載致しますのでそちらの方にもご協力いただければ幸いです。

## 【団体概要】

**団体名：**チーム SSP+

**代表：**藤田 滋(日本大学生物資源学部)

**アドバイザー：**高橋 幸弘(北海道大学教授), 成瀬 延康(滋賀医科大学准教授)

**URL(公式サイト):** <https://sspplus.org>

**活動内容：**高校生向け研究プログラム「Super Scientist Program Plus」の運営

**メール：**[support@sspplus.org](mailto:support@sspplus.org)

**TEL:** 090-3778-8143

## 【本リリースに関するお問い合わせ先】

チーム SSP+

**担当：**石ヶ森 祐

**メール：**[support@sspplus.org](mailto:support@sspplus.org)

**TEL :** 080-5732-6161